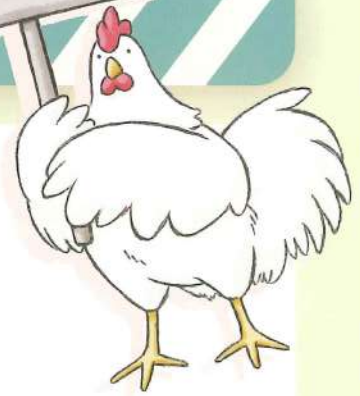


畜産現場での効果的な消毒

鶏編



養鶏場内部の消毒体制の強化

養鶏場の8割以上で用いられている逆性石鹼による消毒の課題

- ① 低温下で効果が落ちる。
- ② 有機物存在下（汚れのついたところ）で効果が落ちる。
- ③ 効果が出る病原体が限られる。

逆性石鹼の効果を補助するために“マイクロMIX法”を！

“マイクロMIX法”とは、本消毒法の普及に向け新たに作った名称です。

逆性石鹼に、消石灰より粒が細かく、平均粒子径 10 μ m の水酸化カルシウム粉末（以下「マイクロ水酸化カルシウム」という。）を濃度 0.17% 以上となるように混ぜた消毒液による消毒法（現場では、0.2% で用いると良いです）。

普段逆性石鹼で消毒するときと同じ感覚で消毒に使えます。

混合液の作り方：資材	夏場 1000 倍希釈	秋から春 500 倍希釈
逆性石鹼	200ml	400ml
マイクロ水酸化カルシウム (0.2%で作製の場合)	400g	400g
水	200リットル	200リットル

(参考) 500ml の計量カップに、マイクロ水酸化カルシウムを 360ml くらいの線まで入れると 200g となります。水 100 リットルに対して 200g が必要です。作り置きが可能です。1 週間程度で使い切ってください。

より具体的な使い方は以下をチェック

1

衛生管理区域内に入る車両消毒（飼料搬入、薬品搬入、鶏の搬入・搬出、機材の搬入・搬出）。車両のフロアーマット、車内、車両荷台。



車両消毒でも相乗効果が期待できます





張り付いた汚れ(病原体)には動力噴霧器の利用が効果的です

2

輸送かご、卵トレイ、孵化場のセッターやハッチャー、
種卵のディッピングなど



中で使用した長靴はできるだけ長く
漬け置きすることをおすすめします



マイクロMIX法の効果は東京農工大学及び北里大学における研究成果に
基づいて示しております。

詳細については、公益社団法人中央畜産会のホームページにある「畜産
分野の消毒ハンドブック」や「畜産農場バイオセキュリティ強化マニュアル」
をご参照ください。PDFをダウンロードできます。

不明な点や改善点等の情報は、公益社団法人畜産技術協会にお問い合わせ
ください。



畜産技術協会ホームページで
動画等も公開しています。



The National Association of Racing
地方競馬全国協会
畜産振興事業